

とうり さと

桃李の里

福島市立中野小学校 学校だより

令和3年3月12日発行 (No. 33)

文責：校長 白土 勲



感謝のつどい



3月10日(水)に感謝のつどいを行いました。毎朝立哨指導をしていただいている交通指導員の渡辺満雄様に感謝状を贈呈するとともに、代表の穴戸美咲さんが感謝の思いを伝えました。

雨の時も雪の時もみんなの命を守るために立っていただいたり、除雪作業を行っていただいたり、融雪剤をまいていただいたりしていることなどを具体的に取りあげながら、心をこめて感謝の気持ちを伝えていました。

満雄さんからは、停まってくださったドライバーへの会釈等のあいさつがすばらしいと、子どもたちにお褒めの言葉をいただきました。

今後も地域の方々への感謝の気持ちを忘れることなく、子どもたちの学校生活をよりよいものにしていけるように努めて参ります。



東日本大震災から10年



忘れることのできない3月11日。東日本大震災から10年たちました。様々な困難を乗り越えお子様を育ててこられた保護者の皆様に改めて敬意を表します。

子どもたちにも震災当時の様子を理解してもらうとともに、風化させずに東日本大震災を語り継いでいってほしいという思いを込めて防災集会を開きました。当時の地震や原発事故の様子を一人一人の先生方に熱く語っていただきました。子どもたちは全員、真剣な表情で話に耳を傾けていました。

現在も新型コロナウイルス感染症により生活が制限される毎日が続き、子どもたちも、また保護者の皆様も心も体も疲弊しているかと思えます。そのような中でも、震災等の過去の教訓をふまえ、みんなで協力し希望をすてることなく前に進むことで最後には幸せをつかむことができるという光をみんなで共有できればと思っております。「朝が来ない夜はない」夢や希望を子どもたちにもってもらえる活動を今後も実践して参ります。

午後2時46分には、犠牲に合われたの方々に向けて全校生で1分間の黙祷をささげました。

